

春告草

第83号 平成29年11月22日 進路指導部発行

国立大入学辞退者減少は人気回復の傾向か？

せっかく合格した国立大医学部への入学を辞退する。なんともったいない…と思うのは、私だけではないだろう。表1は今年度入試における首都圏国立大と旧七帝大の入学辞退率と追加合格者数の一覧である。辞退者数の合計は81大学で7768名、昨年度の8179名に比べて411名の減少である。「もったいない」と書き出したが、国立大全体では入学辞退率は下降していて、国立大人気は回復傾向にある。しかし地域別にみると、大都市圏では志願者増加、辞退者減少の状況があるが、地方では志願者減少の上に辞退者も多いという大学がある。

私立大では入学定員厳格化で、合格者数の絞り込みの予測から、受験生が併願校を増やし、近畿大、明治大、早稲田大、日本大、法政大、東洋大の6大学で10万人以上の志願者を集めた。国公立大とともに二極化が進んでいるのが、最近の大学入試事情だ。

今回は学研・進学情報12月号掲載記事をもとに、国立大追加合格と入学辞退率をみていこう。どうしても国立大現役合格を目指すのであれば、辞退者数の多い大学、追加合格のある大学を検討してみるのも一考である。

4割程度の大学で昨年より入学辞退率が減少

各大学の学部改組が進んでいるが、改組を実施した国立大の辞退率を昨年と比較すると、辞退率の減少につながったのは、東京海洋大(7.2%→6.3%)、横浜国立大(17.3%→14.7%)、名古屋大(2.8%→2.4%)、愛知教育大(5.1%→3.3%)、三重大(9.8%→7.7%)、大阪教育大(7.0%→6.0%)、高知大(15.4%→10.0%)、鹿児島大(9.4%→8.8%)、琉球大(16.8%→14.1%)である。反対に辞退率が増加したのは、山形大(10.3%→11.6%)、茨城大(19.3%→19.6%)、鳥取大(14.9%→15.8%)、島根大(11.9%→12.0%)、大分大(10.1%→12.5%)などである。

教育単科大は軒並み辞退率が減少し、人気を集める

今年は、特に教員養成の単科大学が注目されていたが、宮城教育大(3.8%→3.2%)、上越教育大(7.1%→6.3%)、愛知教育大(5.1%→3.3%)、奈良教育大(4.1%→2.8%)、鳴門教育大(5.2%→2.0%)、福岡教育大(5.7%→5.1%)と軒並み入学辞退率は減少した。

9年間辞退率1%以下は東大・東京藝大・京大

さて、今年度も受験生の人気が高く、辞退率が5%以下となったのは北海道大、旭川医科大、東北大、宮城教育大、東京大、東京学芸大、東京藝術大、東京工業大、一橋大、浜松医科大、名古屋大、愛知教育大、豊橋技術科学大、滋賀医科大、京都大、京都教育大、大阪大、兵庫教育大、奈良教育大、鳴門教育大、九州大、鹿屋体育大の22大学で、昨年より5大学増えた。ここからも国立大人気が伺えるが、特に東京大、東京藝術大、京都大の3大学は、最近9年間の入学辞退率は1%以下である。

合格者割増率(最終合格者数-募集人員)÷(募集人員)が20%以上になった大学は16大学(昨年17大学)だったが、10%以下だったのは、北海道大、旭川医科大、弘前大、東北大、宮城教育大、東京大、東京学芸大、東京藝術大、東京工業大、一橋大、金沢大、浜松医科大、名古屋大、滋賀医科大、京都大、京都教育大、大阪大、大阪教育大、神戸大、福岡教育大、九州大の21大学(昨年18大学)である。

埼玉大はノーベル賞効果で今年も難関私大に善戦

次に、合格者の割増率が20%以上、入学辞退者数200名以上、入学辞退率15%以上という3項目基準で、2つ以上の項目に当てはまる大学は10大学だった。3項目すべてが該当するのは、北見工業大、茨城大、佐賀大の3大学(昨年5大学)である。

北見工業大は（合格割増率、入学辞退者数、入学辞退率）の順に（94.8%、278名、46.5%）と今年も高い数値だ。茨城大は（26.9%、329名、19.6%）、佐賀大も（24.2%、205名、16.1%）となっていて、改組の成果はまだ表れていない。昨年これに該当していた横浜国立大、琉球大では入学辞退率は15%を切っていて、改組がうまくいっているようだ。埼玉大は入学辞退者数、辞退率ともに減少、梶田隆章教授のノーベル賞効果もあって人気が続いている。2項目に当てはまるのは、室蘭工業大、帯広畜産大、宇都宮大、横浜国立大、京都工芸繊維大、鳥取大、山口大、宮崎大の8大学である。

工学部に多い入学辞退者

例年に比べて入学辞退者が減少したとはいえ全体では7768名と人数的には多い。具体的に学部毎に入学辞退者をみると、工学部が全体の29.6%を占め、社会学部系統16.4%、人文学部系統13.8%、農・畜産系統9.1%、教育学部8.1%と続く。工学部の入学辞退者が特に多いが、募集人員の数も文系の2～3倍と多く、辞退者も比例して多くなっていると思われる。また、工学部系統でも改組が進んでいるが、国立大工学部は募集が専門的

表1 国立大別「追加合格者数・入学辞退率」一覧（首都圏大、旧七帝大の一般入試）

大学名	募集 人員 (2017 年度)	2016年度				2017年度									
		最終合格者数	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	最終合格者数	合格者割増率	追加合格者数	入学辞退者数	入学辞退率	入学辞退者学部内訳				
											前期 (学部・人数)	後期期 (学部・人数)			
北海道大	2,426	2,629	—	101	3.8%	2,622	8.1%	—	103	3.9%	総合文系 9、総合理系 21、文 7、法 3、経済 2、医(保健学系)1、歯 2、水産 4	文 8、法 4、経済 1、理 8、医(保健学系)2、薬 3、工 13、農 7、水産 8			
東北大	1,899	2,048	—	104	5.1%	2,022	6.5%	—	73	3.6%	文 6、法 3、経済 11、理 6、歯 2、薬 1、工 11	文 29、医(医)4、医(保健) 6、歯 2、薬 1、工 11			
筑波大	1,486	1,715	17	126	7.3%	1,685	13.4%	26	106	6.3%	人文・文化 14、社会・国際 15、人間 3、生命環境 9、理工 16、情報 6、医(医)2、医(看護・医療科学)4、体育 4、芸術 3	人文・文化 6、生命環境 1、理工 13、情報 8、芸術 2			
埼玉大	1,395	1,669	10	204	12.2%	1,619	16.1%	12	190	11.7%	教養 16、教育 18、経済 67、理 24、工 64				
千葉大	2,147	2,428	16	228	9.4%	2,411	12.3%	*	188	7.8%	国際教養 20、文 13、教育 8、法経 18、理 9、医(医)6、薬 2、看護 2、工 21、園芸 12	文 4、法経 11、理 20、医(医)3、薬 3、工 27、園芸 9			
東京大	2,960	3,031	—	15	0.5%	3,012	1.8%	—	19	0.6%	文Ⅲ1、理Ⅰ11、理Ⅱ7				
東京医歯大	247	289	*	40	13.8%	281	13.8%	*	29	10.3%	医(医)11、医(保健衛生)3、歯 10	医(医)3、歯 2			
東京外語大	703	856	*	110	12.9%	830	18.1%	*	104	12.5%	言語文化 34、国際社会 33	国際社会 37			
東京学芸大	884	998	0	47	4.7%	972	10.0%	1	39	4.0%	教育 26	教育 13			
東京農工大	751	868	—	92	10.6%	862	14.8%	—	85	9.9%	農 14、工 16	農 15、工 40			
東京藝術大	471	478	—	1	0.2%	469	-0.4%	—	1	0.2%	美術 1				
東京工業大	921	972	—	22	2.3%	969	5.2%	—	24	2.5%	第1類 3、第3類 2、第4類 4、第5類 1、第6類 1、第7類 10	第7類 3			
東京海洋大	373	430	—	31	7.2%	413	10.7%	—	26	6.3%	海洋科学 2、海洋工 4、海洋資源環境 2	海洋科学 4、海洋工 14			
お茶の水女子大	351	436	—	40	9.2%	417	18.8%	—	32	7.7%	文教育 14、理 3、生活科学 4	文教育 6、理 3、生活科学 2			
電気通信大	620	703	0	53	7.5%	685	10.5%	—	51	7.4%	情報理工 7	情報理工 44			
一橋大	920	954	—	8	0.8%	964	4.8%	*	11	1.1%	商 1、社会 1	経済 8、社会 1			
横浜国立大	1,400	1,817	7	314	17.3%	1,720	22.9%	0	253	14.7%	教育 17、経済 15、経営 54、理工 29、都市科 8	経済 30、経営 18、理工 69、都市科 13			
名古屋大	1,739	1,847	—	52	2.8%	1,826	5.0%	—	44	2.4%	文 2、教育 7、法 3、経済 3、情報 4、理 5、医(保健)12、工 10、農 2	医(医)2			
京都大	2,687	2,830	2	13	0.5%	2,743	2.1%	0	6	0.2%	総合人間 1、理 1、医(人間健康)3、工 1				
大阪大	2,968	3,405	5	90	2.6%	3,201	7.9%	4	46	1.4%	人間科 1、外国語 13、法 3、経済 7、理 2、医(医)1、医(保健)4、歯 4、薬 1、工 7、基礎工 3				
九州大	2,365	2,581	—	149	5.8%	2,532	7.1%	—	117	4.6%	文 2、教育 1、法 4、経済 10、理 1、医(生命科学)1、医(保健)9、歯 1、薬 3、工 5、芸術 1、農 2	文 3、法 10、経済 14、理 12、歯 1、薬 2、工 32、農 3			

入学辞退者数は、最終合格者数から入学者数を引いたもの／追加合格者数の「—」は、大学資料のままだ、または記載のないもの／追加合格者数欄の「*」は、最終合格者数に追加合格者数を含むが数値は非公表／北海道大の最終合格者数は当初合格者数／京都大後期日程は法学部「特色入試」で実施。募集人員 20 名、合格者数 23 名。

すぎて（※）高校生の段階では決めきれない状況があるのも一因と思われる。

さらに私立大では首都圏以外の受験生を対象とした給付奨学金「予約採用型地域限定」制度の導入も進んでいる。慶應大「学問のすゝめ奨学金」、法政大「チャレンジ法政奨学金」、早稲田大「めざせ！都の西北奨学金」など、首都圏受験生にとっては迷惑(?)な制度だが、地方国立大にとっても厳しい競争相手だ。

文部科学省データで、国立大と私立大を合わせた「自県内大学への入学者数」をみると、入学率1位は愛知県で、2位北海道、3位東京都、4位福岡県、5位宮城県である。ちなみに、他県の大学へ入学した者の流出先1位が東京都なのは埼玉県で、新入学生の51.1%が都内の大学に進学している。以下、神奈川県50.0%、千葉県45.4%、茨城県34.1%、山梨県32.6%、栃木県28.9%と続く。私大難関校と関東の国立大の併願者が多いことを裏付けている。

追加合格は医、教育、理工学部が目立つ

表2は今年度入試で追加合格者を出した大学の学部内訳を前期後期で示したものである。公表した29大学の他に、千葉大、東京医科歯科大、一橋大、岐阜大、静岡大、滋賀医科大、神戸大、徳島大、琉球大は人数非公表だが追加合格を出している。

今年度入試で追加合格者が20名以上となったのは、愛媛大31名、北海道教育大30名、筑波大26名である。

例年、追加合格が一番多い学部は医学部で、教育系統、理工学部系統が続く。医学部医学科では、入学辞退者が出た場合、例年追加合格者を出し、募集人員と入学者を同数になるよう調整している。国からの補助金を多く、予算の適正執行という点で、大学が定員にできる限り近づくよう追加合格を出している。山梨大医学部（後期）は入学辞退者10名で、追加合格者も10名だった。また、追加合格の人数非公表の千葉大医学部の入学辞退者は、前期6名、後期3名の計9名である。東京医科歯科大医学部も前期11名、後期3名計14名の辞退者がいるということも考慮しておきたい。

追加合格や入学辞退率も調べて出願計画を

追加合格者数と入学辞退者に注目して今年度の国立大入試を振り返ってみたが、例年国立大全体で7～8千人程の辞退者が出ている。どうしても国公立大現役合格を目指すなら、この辺のデータも考慮して出願を考えてみても良いだろう。

表2 追加合格を実施したおもな国立大、学部内訳（2017年度）

大学名	追加合格者数	前期 (学部、人数)	後期 (学部、人数)
北海道教育大	30	教育14	教育16
帯広畜産大	10	0	畜産(畜産)10
旭川医科大	4	医(看護)1	医(看護)3
山形大	9	地域教育文化1、農6	医(看護)2
筑波大	26	人文・文化1、生命環境3、理工7、医(医)2、芸術専門2	理工7、情報4
宇都宮大	11	教育1	教育6、工4
群馬大	14	教育1、医(医)4、理工3	
埼玉大	12	理2、工10	
東京学芸大	1	0	教育1
新潟大	15	医(医)2、医(保健)5、歯4	医(保健)3、歯1
富山大	16	人文1、理2、医(看護)1	人文1、経済2、理2、医(医)3、医(看護)1、工3、芸術文化1
金沢大	10	理工5、医薬保健(医)1、学2、医薬保健(保健)2	医薬保健(薬・創薬科学)
福井大	5	医(医)1、医(看護)1	医(医)1、工2
山梨大	15	教育5	医(医)10
浜松医科大	3	医(看護)1	医(医)2
名古屋工業大	6	0	工6
三重大	7	工3	工4
京都工芸繊維大	17	工芸科学3	工芸科学14
大阪大	4	歯4	0
鳥取大	8	医(医)4、工4	
島根大	10	医(医)3、総合理工3、生物資源科学4	
岡山大	2	歯1、薬1	0
広島大	16	医7、歯9	
鳴門教育大	1	教育1	0
愛媛大	31	教育5、社会共創1、理12、工5	理3、医(医)3、工2
高知大	7	医(医)2、医(看護)1、地域協働4	0
長崎大	18	教育3、医(医)4、医(保健)1、歯2	医(保健)5、歯3
熊本大	2	薬1	医(保健)1
鹿児島大	15	教育2、理1、医(保健)4、歯2	教育1、医(医)2、歯3

※東京農工大工学部で学部改組の予告

東京農工大学では平成31年度入試(現5年生受験年度)より、工学部を改組する計画がある。現在ある8学科のうち、化学系学科をまとめる方向で検討中とのこと。今年度入試でも工学部後期試験で40名の入学辞退者が出ているが、化学系をひとまとめにすることで、幅広く受験生を受け入れるということなのだろう。今後の発表に注目していきたい。(学科の名称も変更か?)

生命工学科	→	
応用分子化学科	⇒	
有機材料化学科		
化学システム工学科		
機械システム工学科	→	
物理システム工学科	→	
電気電子工学科	→	
情報工学科	→	

センター前50日の過ごし方

6年生は、センター試験まで残り50日となりました。昨年のこの時期は選択科目の申し込みで、どの科目を選ぶのかといろいろ悩んでいたことでしょう。あの時、はるか先にあった「センター試験受験」「大学受験」がもうすぐ目の間に迫ってきています。心身ともベストコンディションで入試本番を迎えるためにも、この時期の過ごし方は大切です。勉強面、生活面について、チェックしておきましょう。

多くの問題に当たることが過去最大の伸びにつながる

まず学習面です。

1年間の受験勉強の中で、この50日間は最も成績が伸びる時期です。「現役生は入試直前まで伸びる」「受験の真っ最中にも伸びる」とは昔から言われていますが、その理由の一つは、この時期に最も多くの問題を「解く」からです。

人は「覚える」ことよりも「解く」ことによって知識を深めて定着させていきます。逆に言えば「解く」ことをおろそかにすると、実践的な知識をつけることができません。十分な演習時間を確保するためにも、この時期の正しい勉強法は「**解きながら覚えていく**」ということを肝に銘じてください。

では、解きながらどうやって覚えていくか。一言でいえば「**整理しながら覚える**」ということです。解けない問題に出会ったら、日頃使っている教科書や参考書・問題集に戻る。その問題の関連知識をチェックすることは勿論ですが、その単元の知識もざっと網羅的に確認しておきましょう。そして次の問題を解く。これを繰り返すのです。今までINPUTしてきた知識は、OUTPUTの作業によって、それぞれがつながり合って、点が線となり、線が面となっていくのです。

新しい参考書・問題集を買う人がいますが、まずは今までのもので良いと思います。使い込んだ参考書、問題集が自分にとっての最良の教材となるのです。

この選択肢はなぜ誤り？を考えながら解く

「解きながら覚える」ということでしたが、解き方についても考えておきましょう。それは選択肢の分析です。国語、英語、地歴は選択肢の中から正答を選ぶ解答方式ですが、「答えがあっていたらOK」で終わらせてはいけません。「なぜ、他の選択肢では×なのか」を説明できないとダメです。例えば4択問題で①が正答なら、どうして②～④が間違っているのかを考えてみるのです。その根拠は解説に載っていることも多いので、必ずチェックしておきましょう。

時間感覚も養いましょう。過去問演習に限らず、教科書の例題・練習問題を解くときにも時間を意識して取り組みましょう。集中力を高める効果はもちろんのこと、「問題を解くのにかかる時間」を身体に覚えこませるのです。そうすると、試験中の時間配分に役立つのです。

例えば、残り時間が15分しかないにも関わらず問題がかなり残っているなら、何を選んで何を捨てるのかを冷静に判断しなければいけません。普段から時間を計って勉強ができていれば「この問題は3分でいける」「これは5分はかかるから飛ばそう」となど判断できます。試験は、時間内に解けてこそ意味があります。

睡眠の質にこだわり、風邪をひかない身体をつくる

次に生活面ですが、この時期は決して無理をしないことです。試験当日に最大限のパフォーマンスができることを心がけて生活することが大切です。睡眠時間を削るなんて論外です。睡眠は記憶を整理する大事な時間です。焦って削りたくなる気持ちはわかりますが、そういう時はまず、1日の行動記録をつけてみて、起きている時間のうちムダに使っている時間を探してください。

また、「睡眠」の質にもこだわしましょう。寝つきが悪いという人は、寝る直前までスマホをいじっていませんか？PCやスマホのライト、蛍光灯は人を興奮状態にします。寝る前はスマホを見ずに、照明も少し暗くして心を落ち着かせましょう。足先などを温めると寝つきが良くなります。

風邪をひかないためには身体を冷やさないことも大切です。体温が1度下がると、免疫力が30%下がるという研究データもあるようです。

**センター試験まで52日
頑張れ三期生！**

勝って、勝ちに傲ることなく、
負けて、負けに屈することなく、
安きにありて、油断することなく、
危うきにありて、恐れることなく、
ただ、ただ、一筋の道を、踏んでゆけ。
嘉納治五郎